



元文二年三月九日一万石代帳帳ハ
す母あつさ一古射山の好園おひきり
いねりねん赤木おわふふまうねん
ねん一ちげさの作のいねりねん
いねりのまうはらうのいねりねん
いねりねんと膝を寄るねん
かりれ底も母をいねりねん
いねりねん



花笠目
山口羅人

字蛭牙青、御射山、老桂宮卜具、入法念所、喜都人
宝曆二年七月二十九日歿

百巻之表 夏二十句



御射山家

六	舟	や	道	と	舟	ハ	あ	れ	魚	羅人
女	男	松	の	枝	乃	操	を	消	凡	羅之
依	の	志	ふ	く	さ	れ	中	は	推	して
は	り	あ	ひ	人	形	衣	柳	も	き	山
の	ひ	あ	ら	る	糸	垢	乃	足	ハ	海
横	柄	や	ん	て	葉	輝	も	そ	も	る
海	く	や	草	の	入	ら	か	ら	る	糸
乃	川	ら	り	や	總	ふ	中	の	葉	羅

百

五

たにちりてやのさし田畠

後人等共もいふにぬや 仕立栄 虫岳
 世乃戀いさす一牡丹乃小忌衣 李風
 おもむね ぬき頼乃を山言ふ 百尺
 舟ハ折もふ何をもや 代々の友 白季
 去恙を下もり 投る 海とては 一徑
 命のたて袖ハ何とぬ 凡情が 道
 二人系の 舟や舟が舟一 杜あ 異洋
 おん田極一 粒乃信 夕^ツ海^ニの友 象笑

さりり人のちりて 羨乃出りり 何狂
 日おふく 光る 舟とあはれ 而吹
 船中や 鏡のあはれも 扇乃上 扇扇
 喜さ乃山 志す 舟や 舟乃お 北舎
 極樂れ ちりりや 舟のたて 憂舟
 志がらと 舟ちりり 舟のたて 舟考
 舟乃舟 舟出 舟舟乃 舟舟 不立
 舟く 舟の 舟舟 舟乃 舟 舟袖

市海ありく秋に遊来くや牛の池 畔石

とく勝てけいつたりをきく 汐満

と息くや舞のまれ 磯のまの 津風

かきたや二日きくや菊乃は 杜府

雲乃音や雲不流不朝のつゆり 翠紅

秋五に 桑乃あく 蛙跡

雲の流あまや 海川の 麦屋貞 十徳

何となく人の 日あきゆく 藤生 秋生

をり 河豚はきくや 秋の末 可食

家し 秋菊のよふいや 雲大 春芽

浪戸ふし 月よりく 慶々

母愛乃 雲まじり 古琳

萬の葉や 罪はく 玉松

草乃 ぬを 杜曉

石 雲れ 梅谷

冬二十巻

足り 雲はきく 梅谷

きぬく 雲れ 梅谷

梅谷

吹きよる木く乃志く川うま 三至

板屋り月のみまきく時あかな 新里

湯くく勢揃くさきく勢多勢王 三水

境くくくまみ下海く一里あり 喜谷

多美州やあま架の陸牙刻衣 法弁

雪乃花はくく杖やほくく自費 梅圃

舞菊に在りも阿くやかろけき 支路

山くくく志く山原やくく海山 儿山

春はくく朝中川の春乃海邊 弟島

志く歌くや春ゆく勢多に朝日影 儿圭

春乃此春に陸くや夜乃不二 心仙

神守く月くやこくねまの候海傍 李雨

神守や春乃くへ誠は夕月影 系統

春夜系鳥く山口のわりく一英 一英

葉ハ春にちくく春に春りく 喜南

春清や帆の文章うけく福喜海 福里

春清くむくく春に春りく 約言

春清の火は柳くく春に春りく 知声

春三十首

誰の子も負ふく助くるや戸梅 嘉慶

身ハ多勢所養を此むくはる海鏡 不憂

喜竹やかさし一扇乃くはる波 幸龍

擧と飛養乃そまや片おひい ち魚

花に根す凡のすこや物くこい 其凡

祢の代や人くさるを信て魚 珍石

や戸藤乃 屋とにむすは任持 孤雲

一夢や筆く 筆子此物ゆき多 主中

凡いそはかしく候きぬや初こころ 音真

小神帯きやこ花の角廣く 立儿

春女くくさる子ハ梅もあくるま 春流

多くひきや 陸の嫁乃きあし 秋引

多や火燈れくは 喜干得 一行

春折 妻十くへは結すくこころ 喚洞

徳子出るとまてし世もくくやうい苗 期分

花乃そぬくち不出るかきり舟 燦永

苗代や海士此 海をりき水多 徳丈

お梅や人をまゝにきかうへ
 秀彦
 聖鶴乃ちてつゝを梅乃花
 秀彦
 君を志ぬちりつて多し花の妻
 未分
 むらぬや跡牙日乃阿る後乃花
 千席
 面をれさく月夜やわくの院
 三蝶
 花より背子風あつむ林北庭
 多凡
 川音を事ふう多し一櫻うま
 百一
 花日や梅のよき想ううき謝
 向真
 母より教風ハ柳こ忌ふきり
 可馬

花より梅乃し聖や樂の越
 八百彦
 かきけり花筆小長月や梅雪吹
 吟松
 妻咲てま鞋乃片枝梅むり
 柳露
 咲花や阿海ハ花の音う一花
 非松

返加表 四巻源頼朝

花より梅乃し聖や樂の越
 八百彦
 かきけり花筆小長月や梅雪吹
 吟松
 妻咲てま鞋乃片枝梅むり
 柳露
 咲花や阿海ハ花の音う一花
 非松

五

六

浦多やがゆいく乃 伊く事は 青く

き川なみや鞭の意志 取給 松金

ゆふ虫やふれハ神代能事道 野里

音満よくあより 祇王うま乃居 初月

かいたより雫の食元ほく事次 百丈

在を藤くはうつふ被了 澁乃月 新玉

まはふく秋も程信ふ 権権 方菊

年割了紙紙憂を同客ふ 水室ち 野胡

初給 風やうけしき 干く乃重 足帆

亦乃花や牽干ス 居れ夕明り 主女

日枝を宏 やうほくき次之川 荒川

わき水のやなさけハ 居く 雲持 湖臺

子花やニ階うくまかよつき 社之

家まより子乃神凡や 伊達意 松馬

障書や粉舟乃 舞 ちれお原 宗松

まよま基子神の安ひれ 故事うみ 柳生

ふみの陰に 滝一さや 川むい 野友

商人乃 折も程ありや 伊後川 幡江

引ヶや〜け花も後 拵ひ律 千席
夏の夜やまゝ代く〜あ海さ〜 杜曉

全

素初夢乃ま〜なり〜〜行 田新
道代く不ま〜ま柳此心せぬ久 豊流
世の棟木 蒼くや 詠子の〜これ 一行
尉と娘 逢ふれ 蝶乃〜 嵐笠
ま〜風 白ひ 帯〜り 万句の望 祐新
作〜〜〜り 万も〜〜り 粟乃花 壽息
まの心をわけて 夢や 蟹斗の夢 蝶秀

地〜〜〜ら 花のころや 夢の妻 和石
あ〜〜〜〜り あり〜〜これ 水宮と 音雄
輪の舞〜〜〜り あり〜 三川 閑茶
ま〜〜〜を あり〜〜り 夏木立 友妻
ま〜〜〜〜り あり〜〜り 際のみ 鶴杖
夏山や 下ゆく あり〜 乃白り 観 吳帆
十〜〜〜これ ち〜〜〜を 舞の〜〜〜り 一四
夢や あり〜〜〜り あり〜〜れ あり〜 爾巴

おん三早

露原〜 森り 点 吹 百 懐 紙 儿 山

多神や布織末乃ほくま
 可馬
 志く人教勝のねまやま何く
 松杖
 系官の葉乃さく海を芦り
 女家
 操乃あまれさほく
 柳うま
 子徳や星れり家の紙屋川
 富鏡

時假の白

おま乃望やほりよ
 舟の事
 桂酒

 舟人船中の記後を伴ふまひをさるる事
 二のまよすり英士のまやひをさるる事

 舟のまよりや人乃花枝
 不憂
 まとふ一まもや
 標む一海
 鬼橋

諷

うのまふ尺とまり子代乃夏本立
 野里
 巻敷も紙紙のまやこれ嘉定うま
 光水
 神の本も紙乃さくやか智の梅
 三流
 葉まけ日ふまはまくんまは
 蟻行
 向さまふくめもつきは
 嘉定乃日
 可也
 葉子鹿屋むハ長と清かほくの日
 千野
 而合格し徳に若さをまよ
 真扇
 ままぬや子世乃月次の
 られ紙
 可馬

全

わたりやなまよふ河乃神うつ 朝哥
新波付のまも海一や花万句 輝風

謳

百合の枝かまよやうこ此少いも世 蟻立
花屋系道いひしりよき海 浦若
月まふつまよふまき 山笑
海子候や末此歳候のりキ 志海
な陸や花ちよと勢 秀く理ふ 新丸
まやく候の汗もかいぬ 嚙み家 沖足
積りまのちやわくうい乃まき 徳海 玉葉

句けしもまふ石橋そ 将任
君まや余花の白いもまき 干門

御射山島飛道中れの燕舎門生系る系うる本圖の
萬舟と陸れれやれはくふまかーたさる上ようりひて

青瓜や志ま系 牙院
ぬつじや花屋候ま 羅江

題謳

影海一玉のつきれ 魚足
玉き海心男まりま系 綾門
青高ハハつけ候まき 射大
人丸もままさん 表平

お方に祝も誠心聖母子 平蕪
万あるも乃何とぞむきよ 泉のよ 羅立

賀喜

多れ花を 而もぬく 而宿の園 院菊
水空田の水も 亦来敷 翠那 金桃
明上る 喜田此 水や しの鏡 麻住
土空亦に 夏も きのや 風不 稻起

寄謡祝

十子星 舞の 活来や 虎送 千風
お生乃 雲や 水那の 風喜 我笑

お方お祝

席乃お祝

席乃お祝

友集め

寄扇祝

花を多ふ 扇をよきものハ何よきもの哉
東武 宋阿

全

あさり 沼乃らん 此扇 忠さし 扇 芳室

あさり 忠麻もさし 扇わけ 伏見 扇路

あさり 忠麻もさし 扇わけ 尼崎 扇月

あさり 忠麻もさし 扇わけ 大坂 湖照

如

あさり 忠麻もさし 扇わけ 大坂 瓦長

扇

あさり 忠麻もさし 扇わけ 讃岐 豈山

あさり 忠麻もさし 扇わけ 江戸 薫洲

あさり 忠麻もさし 扇わけ 全 六蟾

あさり 忠麻もさし 扇わけ 丹後 峯山 玉松

あさり 忠麻もさし 扇わけ 讃岐 早流

全

あさり 忠麻もさし 扇わけ 江戸 青之

あさり 忠麻もさし 扇わけ 伏見 芝瑤

あさり 忠麻もさし 扇わけ 全 伊胡

石句

北

春のや 夏海の 雲の ありきの 雲 全 東様

春の照や 城の 花の 花の 花の 全 嵐川

凡の 雲の 雲の 雲の 雲の 江戸 喜電

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 江戸 吾舟

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 江戸 晋如

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 大坂 李原

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

雲の 雲の 雲の 雲の 雲の 後平堂

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

代を 何なく 一海や 雲に 一万句 疎松

後平堂の連歌一日一万句此僅一信を子すは
後平堂の連歌一日一万句此僅一信を子すは
後平堂の連歌一日一万句此僅一信を子すは
後平堂の連歌一日一万句此僅一信を子すは
後平堂の連歌一日一万句此僅一信を子すは

良道

権田江青菴

渥石

李石

耽樂

只清

李波

桃秀

李畝

李堂

全 去日此組の山村をたせしり

万代の影や一厨乃 神あふま
浪花 潘山
 物成る日 扇つくりも 阿ふりも
全 采輝
 神代子ハ 教もかきん 扇打
全 如牛
 〇〇〇〇 地子 兼存 庭や一海
全 松司
河内神田
 玉之之 神子 子来の二あり 〇〇
全 廻危
 万歳乃 傾と 画くや 子代扇
大坂 佳上
 子林の 漆子 〇〇〇〇 阿ふりも
浪花 鯨児
 〇〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
全 山邦
 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
全 由常
 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
全 笛道

菅菖日 阿り 丸山 〇〇
全 壁乙
 月衣の 子子ハ 傾乃 阿ふりも
全 馬紅
 やハ一 帆子 固心 扇の 〇〇
全 季山
 素子ハ 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
全 虎立
 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
全 一秋

扇

扇子と 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
大坂 輕霜
 在と 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
全 掌花
 十と 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
全 梧青
 小兵 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
全 翠紅

京乃あまの心やあふる糸を
お互まねくけよまや墨張回七吐雲

扇

浪花

末廣に君も何けぬ乃まや不二

雲深し子代の小なれ龍林

玉美砂や紙尾上の服衣足風

全

甲と鳴る雨の跡ゆくあふさうか

月花乃中よりけりさ扇かな

暮るに何まうらぶるもあふる

名乃翼の多はま千里は扇

万代の中や何まれまはれ

日乃あじ玉のすくやあふる

凡歌あはハ墨さまふ扇

百くは扇まかぬ凡歌不白

全

梅子やけりくれな井さ家の妻

麦穂の株とかほりあふる

寿辰拾ふ万家乃何まふ

志のまら乃あはまらひや全

虫臂

南溪

李門

足風

阿加徳島

点竹

百丈

白理

全 知格

文裏

桃里

淇流

不白

伏見

其友

幡江

祐之

足帆

名ハ万里 東海の元 凡そある 湖塵
秋は洲子名ハ 末廣北 牡丹小 全 全
幸コ朽ク乃 廣道 使志 局 全
神風ハ先ク 保やり此 嘉嘉子 全
逸水 壯丸

題有賀

手紙影々 查不 傍しま 扇の間 備中堂岡
不易吹 幸りそ 志けさ人乃 多ク 全 玉島
少くは 昔の 四代の あや 友木を 全 玉島
牙を 保川 扇ハ 神乃 凡そ 有 全 玉島
ハ多 垣の あり 自出 有 全 玉島
琴 怨笑

任事 止 有の 志砂 甚 之 全 千風
烟 霧 乃 乃 乃 漆の 有 全 麟牛
四方 靡 又 系 あり 此 扇子 全 狂虎

賀之章

目々 常よ 花 ちり 乃 小 念 此 間 全 亭羅
重 轉 一 偃 凡 や 友 の 草 全 委

言扁祝

歳代 一 々 々 筆 や 官 有 全 南江
素平 一 々 々 々 々 々 々 々 々 全 龜六
素平 の 世 々 末 廣 や 友 志 全 涅水

雖雨或もや中扇物うらり 全 至壽
 翁呼旭すーやさー 全 其流
 詔あ百里と涼一富士の月 全 指月
 高の務乃未廣すー 全 柳徑
 枝明ぬ央代や扇れ 全 隨風
 扇く目くにりささ 全 虹山
 紙く也くさく子くのあさ 全 朝三
 酌のくく河のけハ 全 回月
 末集すー 全 之景
 仁是く 全 朝潮

けそや 全 菓三

扇折志ハく 全 鱗牛

題扇

草七本も扇の徳乃仁う 全 漱水
 幼孫も 全 松
 常盤 全 梅
 消やぬ 全 櫻
 暑 全

寄扇祝

...

...

万葉

おれを 抜ぬ 刀此 ありて 耶

和傳

棟上の 廊くさ 波や 風分 浪

吾衣

女人 目乃 じまめ 七巻 廊小

赤之

庭出 了 多賀 娵 終 ありて 哉

全

春 返 之 多 け 廊の 夏 吉 人 ありて

南山

孝祝

一粒 乃 万 倍 之 也 乃 明 寺

京 万来

全 文 妻 あり 略

六の 夕 乃 若 しか け 海 水 室 花

全 声 光 告 帆 川

妻 背 や 多 しか け 代 の 多 しく 五

凡 葉 亭 珍 衣

家扇祝

折 立 此 乃 風 の 吹 け け 隠 立 人

大 坂 扇 尺

世 を 多 しく 扇 乃 禱 の 物 しく

全 十 網

曲 せ け け け 聲 多 しく 人 扇 あり

全 久 磨

庭 け け け け け け け け け け け け

全 遠 霞

山 を 多 しく 扇 多 しく 海 や 玉 け け け

全 國 捕

神 風 の 吹 け け 同 八 け け け け

全 樞 三

妻 あり 人 子 科 あり 扇 あり け け

全 左 橋

あ け け け け け け け け け け け け

全 東 止

樹 を 多 しく け け け け け け け け け

全 冠 山

若き千里 白の紙 以乃 安かた

全

堺 翠紅月 綾國

一尺万里 海くさ 波や さき 光く

音輔

唐うけし 今之三 筆は 扇う

全 令陽

道と 海川 草も 徳は ああさ

全 後人

題扇

日此 禮や 扇子 阿ま 神 孫の

南紀 一甫

博芳う 扇の 側よ あり あり

全 可木

扇あま 道は 扇乃 志川 齡

全 梅丑

凡 漢よ 子不 かり され の なる

全 布牛

海きし 道子 扇乃 三や 去 不二 一亭

かすく

イセ津

首尾 成て 嘆 阿よく 今し 多 列 草 才不

世は 孫よ 小日 毎 草や 深 扇 芝石

凡よ 多しく 扱ひ 祥々 ああき 市 浩笑

ふく 白や 几 扇 深よ 神 扇子 千車

末 漢よ 道は 深く 行 あり 兼中

十 千の ハ 古 来も 希 小 阿あき 兼 陽和

ふく凡物のかまはまきくおろしおろし
山口えせのこま一万の勢のまきくまき
扱ひのまきくまきまきまきまきまき
扇ののりまきまきまきまきまきまき

あはれきりてかきしりて

雅志きしひあやめも海を陸 全 半采
あふ多く 班女、腕のまじりて 全 赤珍

存 明は此等切きくつれんやうき

さゆりの流 扇たたくや 東武 柴中

弦のすい 夜儀千せり 全

若姫此まきせり 全 河才

藝志多記所ハあまの 播十 志后

志の代もあけり 全 志南

めくり色ハ 園遊子ハ 全 元成

即ち縁をえ 全 花之

和川へ見く 全 白存

かさねや 全 志中

漕舟とあふ 全 為今

き波や松を 大津 志秀

長き川の 全 生甫

凡そ 全 志立

日や日ハ 全 万水

経す 全 其香

七 全 竜舌

七 全 梅哉

くろく之にまはりや千代乃神女 東浩

末廣の末の孫の孫の孫の孫 長妻

福を祝ふかまふ 文里舎

三葉の山よりとけ阿波の山 一馬

万代やをを多くと新影 李杏

日ハくへとけ 吟枝

おはせ凡時を 倭神

一富士を 一炊

おはせ 全

あつた 全

やう 大坂

おさ 江戸

人 紀陽

題辭

あつた 虚川

た イセツ

さ 九青堂

代 全

紙 包様全

紙 全

紙 全

紙 全

右

イセツ

秀と知くくみ明や 白扇

右とよふふ子代の通り矢差の扇 淀 遅牛

竹麻子千代續人の母くく 文橋

麻子地や 一子女 今 湊楽

皇統一書ありてり 極身并人か 布り此女之書を 世にのるく用てあつてい筆をわすし

針まのまね 扇乃的の一字句 全

折信て川々之母の 東と

寄扇説

さほもゆも扇そ代と乃 玉燈 文

くくふふハ 袴はあつて 此扇も 初假

罪まききふ日法 扇の事 全 ヶ石

徳之り 徳は扇や日のすけ 全 雲計

書と知くく 扇や 雲乃社 全 早岐

新舟とあつハ 扇のあつて 全 雲計

まうくく 袴をかき 乃 扇の 全 星寺

お生れ 扇の事 全 一級

幾代とや 伊勢の神代 扇の 全 波法

おきく

質斗とあつ 扇の事 全 湖舟

赤、海うり 河やもろく 扇の 全 不流

万句

末廣やまの凡月乃二葉山

讚九龜

まき牛

今むきふ切とふ島の藤の家

秋田又保由

士林

あふりくかくと人きよまかろあが

全

思立

糸阿ふりふすくハ部あが

全

竹遊

同題

石筋銀山

對代よ即くく百やさけりいな

東林

不二も聲もかろあやき夜夏月

全清亮堂

研朱

折まに忠代のうなまやかろへあ

全

柳葉

さちく小風も遠くマ富士七日

全

竹枝

さすうい名おふゆさもあふさ

全

鳥三

春乃阿ふ夢城ゆり

春の袖

全

朱翠

長庚斗乃帯くくろ扇くま

全

金杏

涼くやまも七十よりふ代の春

全

西嶽千羅

全

子小あや風や枝葉れ

全

江楓

代乃まりまふ種りあふま

全

文香

照る方へ咲やあふま

全

百兄

日ありののさや富士く

全

散木

代くゆく帳の新渾一

全

松雨

相化勢下あふま

全

尔夏

春心凡乃多ぬと此代のかたあか
梅雨舞や千代のはしりたれは歌き
流し入しすゝさあや五神来
垢乃有き世さうり後の麻う那
いふおの露れ乃おやさし前
在し後ふ折くさるる阿沙き
中かさ督ハぢ元ひふ言たるあよさうふ
家士をさうりぬさあハやまら麻
和泉川のみ砂と勝や喜あよき
定雄
寸山
千岫
竹花
紙志
冬之
今月
波光

同

袴垢難や比と麻れ 景乃鳥
汗入る湯次も蒸うかなるる
歩出入乃中流る士 さし阿よき
あしぬ枝の衣代と麻や凡の洞
流しさも人さ移れあささうな
日晝や麻ハ群糸 衣乃下
世と涼し那頃と市う 終糸
晴ちれまきり印く麻か那
春乃凡麻と代とのまきり
梅川
聖雲
喜砂
墨川
可笑
放梅

時優之句混雜

石句

四四

香雪 加乃年 也 櫻乃春 天王寺 晚鈴

とらけ世や とも 花き とも 紫の道 太田 茨山

月比のうら ちう ちう ちう ちう ちう 太田 若生

寄 謹 祝 三浦 三浦 三浦

ちい ちい ちい ちい ちい ちい 京 山火

詞ハ 葉 敷 ぞ ね ちい ちい ちい 全 ちい

ちい 十 八 ちい ちい ちい ちい 全 市新

後 ちい 乃 ちい ちい ちい ちい ちい 全 全志

寄 扇 祝 三浦 三浦 三浦

大坂

あ け 乃 好 の ね ちい ちい ちい 十南 白羽

又

ちい 乃 乃 風 ちい ちい ちい ちい 取三人 家郷

六月 ちい ちい ちい ちい ちい ちい 表山

玉 ちい ちい ちい ちい ちい ちい 表凡

又 ちい ちい ちい ちい ちい ちい 表凡 水式

明 徳 ちい ちい ちい ちい ちい ちい 全 菅径

故 妙 ちい ちい ちい ちい ちい ちい 全 星梅

東 ちい ちい ちい ちい ちい ちい 全 文橋

職中あやまのさへ波 阿さ此子 大坂 芦文

明き漸あまき乃 禰忠 旭か 全 竹成

伸臥さ勢多勢をか した 麻ふ 全 同魚

衣 厚ふ 二十五万 子 讀小 之 全 千鹿

賀章英廟

言多し不三き 高向の 麻ふ 東江閣 樊川

そ〜 厚ふ かく 振ふ 神あ 少多 全 秋司

けうへ 乃 厚ふ 一 雲乃 是 志 高 全 外舟

草や 樹の 布に 麻 忠 茂 子 小 全 丁臺

四 海 波 志 川 ふ 動 一 あ 少 多 全 北箕

賀の 報 一 一 山 志 歳 世 の 有 小 藏人 知鈴

人 幹 乃 揚 さ 力 一 志 厚 麻 子 小 大坂 方盤

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 全 布門

寄扇祝

東武

操 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 李邑

全

風 乾 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 齋堂

全

六月十六日於山金堂阿珠堂宮前百劫湯社

是てきく人阿りや東山の阿唱於都
初く世人於きく阿くま山の音目
をさつてねて一万句のねり今も
まにやゆ珠一派乃き世ゆわく
あはれ年乃自いもまきわんそ別
まの後のまれよの一枝より

五挑箱

鳥林子

夏 根や三つり一竹乃神 夜

世の月あしく夜山まは 羅人

よく入 土羽のねんや、嘆き 李風

新ばきハね 阿ふりりき 五岳

歌子くま麻へ海来るまこれ 吳洋

いこうお ちきりう 船子 帷幕 吟秋

糸不副毛月交るま乃ふりつみ 五堂

糸くの帆張 流りく 後

下里

下巻

元文二世三月九日 堀子高野村人 万石屋
同十三年 東山より 喜多川の 舟の 船の 舟
乃 けしめと 喜多川の
鳥林 云乃 喜多川の 舟の 舟の 舟の

喜多川の 舟の 舟の 舟の

羊持巻

清み や 千十世 六乃 喜多川 録

喜多川の 舟の 舟の 舟の 舟の 羅人

喜多川の 舟の 舟の 舟の 舟の 尾長

夫々 たく 喜多川の 舟の 舟の 湖

末 喜多川の 舟の 舟の 舟の 喜多川

舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 柳園

三五 夜乃 喜多川の 舟の 舟の 子風

花 壇の 陰を 踏く 舟の 舟の

下巻

万石

一書 此乃自... 拾... 某...
... 刻... 氏...
... 乃... 乃...
... 乃... 乃...
... 乃... 乃...
... 乃... 乃...

在(出)



